

会 議 名	第3回港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和元年6月4日（火） 午後1時30分から午後3時30分まで
開 催 場 所	区役所9階 911会議室
委 員	出席者 5名 環境リサイクル支援部長 新井 樹夫（委員長） 環境リサイクル支援部環境課長 茂木 英雄（副委員長） 街づくり支援部都市計画課長 富田 慎二（委員） 環境リサイクル支援部地球温暖化対策担当課長 大久保 光正（委員） 環境リサイクル支援部みなとりサイクル清掃事務所長 重富 敦（委員）
事 務 局	環境課環境政策係
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	議題 1 二次審査（プレゼンテーション）の実施及び事業候補者選考について 2 その他
配 付 資 料	資料1 港区環境基本計画策定のための基礎調査業務委託事業候補者選考二次審査実施要領 資料2 二次審査採点基準表（A事業者） 資料2-2 二次審査採点基準表（B事業者） 資料3 二次審査共通質問事項 資料4 一次審査・二次審査集計結果（※採点終了後、机上配付）

会議の結果及び主要な発言

	<p>開会</p> <p>1 二次審査（プレゼンテーション）の実施及び事業候補者選考について</p> <p>事務局 （事務局が、資料1から資料3までに基づき説明）</p> <p>A委員 それではまず、A事業者の二次審査プレゼンテーションを実施する。</p> <p>A事業者 【A事業者入室】 【プレゼンテーション】（15分以内）～詳細省略～ 【質疑応答】</p> <p>B委員 様式6を中心にお聞きしたい。最初に御説明いただいた体制について、基本的に3人で動くということだが、図の下の方に書かれている作業スタッフについて御説明いただきたい。</p> <p>A事業者 まず、上に書いている3名は業務の進行管理をしながら、お客様との窓口を担当していく。その下を書いてある作業スタッフに関しては、作業分担を少し書いてあるが、例えば左側の者であれば、検討組織の意見整理やヒアリング調査など、社内で主に作業をしていくスタッフとして書かせていただいた。</p> <p>B委員 体制というのは非常に重要だと考えている。先ほどの説明にもあったが、例えば何かトラブルがあったときに、3人の方に連絡がとれないということがないようにしたい。その点もう一度だけ確認したい。</p> <p>A事業者 体制図の中央、業務の進行管理として3名並んでいるが、その中で基本的な窓口は中央の業務主担当が行う。その業務主担当が基本的に全ての作業を把握しておくので、まず窓口は一括で行う。ただ、常に主任技術者、業務担当と情報を共有しているので、業務主担当が外出している時には主任技術者、業務担当のどちらでも電話を変わって、窓口をそのまま続けられるということ考えている。</p> <p>B委員 様式5で本業務を担当される方のお名前を確認すると、本業務のほかに従事する業務が0件ということだが、これはこの業務に関して専任、これしか持ちませんということよろしいか。</p> <p>A事業者 実態としては細かい業務をちょこちょこはもちろん持っているが、この業務を受けたときに、ほぼ専任のつもりでやらせていただく。</p>
--	---

B委員	最後に確認だが、これはやはり重要なことなので、例えば約束ではないが、仕様書にこういう約束でいきますと少し明記させていただくことは可能か。
A事業者	ここに書かせていただいた内容に関しては基本的に問題ない。
C委員	私からは様式8を中心に伺いたい。 作業工程もゴールから逆算してクリティカルパスということで、非常に分かりやすく効率的にできるのかなと思う。様式8に記載の調査に関しては、今後必要となる取組をあらかじめ想定をし、収集すべきデータを決定することで、取組を手戻りなく検討できるということであり、そういったメリットは非常に理解できるが、一方で発注者側としては、こうやって決め打ちをしてしまうことで何か見落とししてしまうのではないかという不安、あるいは実現可能性からの逆算ということで逆に小さくまとまってしまうのではないかという不安があるが、その不安を払拭するような何か御提案、コメントをいただければと思う。
A事業者	取組を想定してからということだが、もちろん様式8でいくと、1の(1)の2点目に記載させていただいたが、発注者様と御意向を確認しながら、もちろん決め打ちはしないで、いろいろな可能性も捉まえながら調査をしていく。それは広範にデータを収集するということになるかと思うが、一方で集中すべきところ、例えばこのところは重点でやってみたいというところがあれば、そういったところはきめ細かく掘り下げて聞いていくなどメリハリをつけていくというのが、調査のやり方としてできるかなと思っている。
C委員	区民、企業、学校を対象にアンケートをしていく上で、発注者として心配だったりいろいろと困るのが回収率の問題だが、回収率の向上に向けて何か具体的に工夫できそうなこと、提案があれば教えていただきたい。
A事業者	どうやって皆さんに伝えていくか、書いてもらうかということだが、これはいろいろなやり方がやはりあるかと思うが、これから港区の場合は、タウンフォーラムも含めて、いろんな機会でも区民の方とやりとりをしていく。また、同時並行で環境分野でもいろいろな調査が並行していくということになるかと思うが、そういったところでの役割分担をして相互補完的に調査を進められるような提案であるとか、それからどういふところで見えていただくかということで周知をするような手法についても、御提案することはいろいろとできようかと思う。
C委員	例えば〇〇市の環境基本計画、〇〇区の環境基本計画があったとして、その自治体名だけ港区にすり替わるような環境基本計画は作る必要はないわけで、そういった意味でデータ収集において、都心港区だからこそ工夫すべき点、あるいは力点を置くべき点、そういったところで御社の考え方があれば、教えていただきたい。
A事業者	都心という役割を他の地域で同じように担っているかといえば、なかなかないわけだが、もちろん政令市であれば、非常に人口も多く、都市機能の集積であるとかそういうものが見られるという自治体はあるが、一方で、取組に関しては、基礎自治体と政

	<p>令市との間でギャップもやはりあるわけで、そういったものを十把一絡げに、ここは都心的な自治体だから、全部聞いてみようということをして活用できないところはあつたりするので、基礎自治体の役割を踏まえながら、どういうことが課題になっていて、どういうところを参考にできるのかということとはよく考えてヒアリングをしていく、調査をしていくということを考えている。</p>
D委員	<p>私の方から2点質問したい。まず1点目は、様式7の区の環境に関する課題のところ、市内横断的な取組が非常に大切だという御説明があつたが、過去5年間の業務実績で、同じように23区の中でやっていると思うが、市内横断的な取組で良かったもの、実績として良かったものを具体的に御説明いただきたい。</p>
A事業者	<p>実態としては、やはりなかなか新しいチャレンジ、どこの自治体もそういう分野かなというふうに思う。</p> <p>やはり環境セクションを超えて、環境基本計画の中に位置付けられるというのが基本的には皆さん抵抗がある話であり、それが環境面でもいいし、例えば防災にも役立ちます、都市づくりにも役立ちます、ということをしつかりアピール、説明していくことで協力してもらえらるというような動きがやはりあろうかと思う。</p> <p>規模の大きい自治体、小さい自治体があるが、どちらかという、正直言って、規模の小さい自治体の方が横断連携しやすい。皆でやらないと進まないというところがあつて、そういう時にやはりやりとりをしていって、どのように効果が、それぞれメリットがあるか、各部署に取り組んでいく意義とか目的がどう合致するのかということをよく理解していただくというのは、成功のポイントかなと思っている。</p> <p>テーマとしては、こちらでも上げさせていただいたが、気候変動適応策などは、やはり既存の温暖化対策の区域施策編やその推進計画の対象部署よりも広がったりするわけだが、そういったところはぜひお示しをして計画に位置付けておくということが足固めの第一歩ということで、各自治体にはこれまで提案差し上げたりしている。</p>
D委員	<p>もう一点は様式9でパートナーシップの強化の御説明があつたと思うが、企画提案書の中で、施策の中で、中小企業の環境貢献を評価する仕組みというのは具体的にどんなこと、こういった仕組みを作ろうということをお考えか。</p>
A事業者	<p>これは補足資料④というのを付けた。こちらの表に施策のイメージみたいなことをそれぞれ記載しており、これはこちらで考えていくことができるのではないかとということなので、あまり根拠はないが。ただ、一方でこの特性を踏まえると、中小企業がやる気になっていただく、地域に貢献するとか、あるいは変な言い方だが、港区が認めていただけるような枠組みの中で取り組めるという安心感だが、そういったものが中小企業に非常に響くということで、他の自治体でもやっているところがあるが、そういうことも踏まえて、港区ならではということ考えていかなければいけないかなと思う。</p>
E委員	<p>提案の中で、まちづくり分野との連携とか地域・企業との連携という提案はいただいでいて、その提案につなげていくために基礎調査を組み立てていくというのはよく分かつたが、今回の業務でもう少し具体的に、どのような点に力を入れていくか、こう</p>

A事業者	<p>いったことを工夫していくんだとかそういったこと、考えていることをもう少し御説明いただきたい。</p> <p>いくつかやり方というのはあろうかと思うが、補足資料の④の前に③という表をもう一つを付けさせていただいた。こちらはヒアリング調査の話だが、ヒアリング調査の中で、どのように連携していくことができるのかというようなところに焦点を当てていくと、学識者の例えば4番とか5番、対象組織としては区内の大学の名前を挙げているが、区内で非常に地域特性に応じた、地域に根差した取組をやられておられ、それは支所ごとのオリジナリティの中で取り組んでいるが、区としては非常に手の組み方が学ぶものがあるというか、顕著な取組事例ではないかなと拝察しており、そういう良いところをどんどん把握して、見える化をしていくというのはやはり地道だが大事なことだと思っている。</p> <p>発信力があるので大企業向けに取り組みがちだが、非常にきめ細かな取組をしているというところはきちんと把握していきたいと思っている。</p>
事務局	<p>それでは審査はこれで終了とさせていただきます。</p> <p>【A事業者退室】</p> <p>(A事業者採点)</p> <p>【B事業者入室】</p>
B事業者	<p>【プレゼンテーション】(15分以内)～詳細省略～</p> <p>【質疑応答】</p>
B委員	<p>様式6の体制について、資料には今7名の方の記載があるが、常に統括責任者の方が動かれるとは思えないので、この6名というのが本当に確保できるかどうか、確保という言い方は失礼だが、本当にこの体制で整えて進められるのかどうか、再度確認したい。</p>
B事業者	<p>進められるか進められないかということについては進められるという前提で記載をさせていただいている。統括的責任者である私は、定期的には打合せはさせていただきたいと思っており、そこには必ず出るところと、資料提示をしていく際の主要なポイントのチェックや方向性の確認をしていきたいと思っている。</p> <p>たくさん技術者を並べさせていただいたが、弊社は、今現在、それなりの業務を抱えているところがあるので、数名が担当をして、その数名が忙しくなってできなくなるとか進捗が遅れるというようなことがないように、いろんなリダンダンシーを確保するという観点で多数の担当者を配置させていただいている。</p> <p>全て私の担当する部門の部員でもあるので、そこは御安心いただければと思う。</p>
B委員	<p>業務として重い軽いというのはちょっと見えないが、数字だけ見ると、4つないし6つ、多い方で6つ担当を抱えているということだが、本当にこの業務を抱えて、さらこの我々のお願いしたい業務を担当できるのか。</p>

B 事業者	<p>弊社はコンサルタントなので、通常であれば10件ぐらいは担当する。それが普通だろうと我々は思っている。</p> <p>あとちょっとこういうお話をしているのかというのはあるが、具体的な業務を見ていただくと、結構本区の名前が入っているかと思う。そういった意味合いでは基礎調査とかそういった部分についてはある程度いろんな部分での情報を既に持っているとか、区の内情をそれなりに知っている、把握をしている会社であると思っただければと思う。そういった意味合いでは、今回の業務を効率的に、御提案等が後戻りがないようにさせていただければと考えている。</p>
B 委員	<p>最後に、この体制というのが、整えられる、十分進められるという前提のもと、これを担保させていただきたいというふうに考えるが、例えば仕様書にしっかりと謳わせてもらって、この体制を整えるということを約束していただきたいと思うが、そういうことは可能か。</p>
B 事業者	<p>それは可能である。もしよろしければ、この提案書を提出したときにはいなかったが、6月から中堅の元コンサルタントをやっていた者が弊社に入社している。その人間は今フリーで事業を持っていない状態であるので、それも含めて書かせていただければ、そちらも御安心できるかもしれないかなと思っっている。そういったことができるのであれば。</p>
C 委員	<p>私から様式8を中心に、調査データの収集、整理及び活用というところで質問したいが、まず都心の港区で策定を目指している計画、これに向けての基礎調査ということで、都心の港区ゆえに重要だと思われるようなことがまず何かあるかということと、あともう一つ、全国平均との比較も含めてというような御提案があるが、この都心の特殊な自治体と全国の平均あるいは全国の津々浦々と比較することで、何を得たいのか、その考えを聞かせていただきたい。</p>
B 事業者	<p>回答が前後して申し訳ないが、全国との比較の話については、特に港区において何が優位なのか、であればその優位なところをさらに伸ばしていくことで、更により先進的な取組になっていくのではないかという視点で、比較はしていきたいと思っっている。</p> <p>あと、都心の港区において何が調査としてポイントになるだろうかという御指摘だったと思うが、土地利用と言うか、建物利用みたいなところは、大きなポイントになるかなと思っっている。そういった考え方の中では、どれだけまだ今後再開発があるのかというところとか、GISを使ってどこが高密度になっているのか、高密度になっていけばそこではエネルギーもたくさん使用されているところもあり、そういった傾向というものを土地利用とか建物利用で計るということも可能かなと思っっている。</p> <p>あとは企業の取組。港区には本社機能を持っている企業がたくさんあるので、そういった企業は非常に前向きにSDGsへの取組みたいな話を既にホームページにも記載されているところもあるので、実際に何をやっていくのか、それにうまく港区としてこの乗っかっていける、乗っかるという言い方は変かもしれないが、うまく活用していけるのかどうかというところは、ポイントとして調査をしていきたいと思っっている。</p>

C委員	<p>る。</p> <p>意識調査について、無作為抽出のアンケートを基本にしつつ、返信率を高めるためにインターネット調査を使いたいということだが、これを具体的にどういう組み合わせで、あるいは無作為抽出の回答率が伸び悩んだ後にインターネット入れるのかとかいったタイミングだとか、そういったことについて具体的に教えていただきたい。</p>
B事業者	<p>最初に、インターネットでのウェブ調査を無作為ではなくやっていいかどうかというところの相談はさせていただきたいと思っている。個人情報の関係とかそういった部分で、一部の他の区ではちょっと厳しいというような話もあるので、そこはちょっと一番最初のところで相談をさせていただければと思う。提出している見積等の費用は特に変更なしという形で考えている。</p> <p>あともう1点は、もしそれが基本的には無作為でやりたいという区の意向があった場合は、オープンなウェブアンケートというものを併用させていただきたい。いつの段階からではなくて、一番最初の段階から併用させていただくことも協議をさせていただければと考えている。途中の段階からウェブを追加することは今のところ考えていない。</p>
D委員	<p>私の方からも2点質問させていただきたい。</p> <p>様式7で港区の地域特性とか環境施策の現状は十分把握されていると思うが、資料の6ページにある横断的な取組、区民や事業者との連携等について、今まで御社の中で具体的にそういう横断的な取組のいい事例があったら教えていただきたいと思うが、いかがか。</p>
B事業者	<p>横断的という言い方の中で、いろんな横断的の話があるかと思う。事業者と区民、そして港区による横断的な取組という話もあるし、港区の中の関係各課の中の横断的な取組というところもあるかなと思っている。例えば、今環境省、国交省をはじめグリーンインフラという言い方をしており、今後の社会資本の整備のあり方というのはグリーンインフラをやっていくべきだろう、それもインフラという中では河川事業とか道路事業とかそういった事業部隊だけではなくて、街の中でのグリーンインフラという考え方をするのであれば、道路の維持管理部隊の話にもなるし、公園部局の視点にもなる。ではグリーンインフラを置いたときに、どう管理していくのかということになれば、市民とか、もしくは公開空地でそういったものを導入していこうとするのであれば事業者との連携も必要になってくるだろうという考え方もある。</p> <p>さらには、いろいろ調査をさせていただいた事例の中でいえば、城崎温泉とかあちらの方に行けば、それを先駆的に進めていて、農業振興とか産業振興にも生かされているという事例もあるので、非常に区内横断的な話、あと地域横断的な話になってくる。そういう事例は、あと守山市とかでもやられている。ぜひ都心港区の中で先駆的な取組ができればと思っている。</p>
D委員	<p>あともう1点、様式9の中で開発誘導における環境保全に関わる制度ということで、より効果的な誘導策という説明があったが、これも取組事例の中で何か具体的なものがあれば教えていただきたい。</p>

B 事業者	<p>港区では風対策とか、ビル風をどう対策をしていくのかということで、普通の構造物ではなくて、樹木をちゃんと植えてその樹木の管理をしていきたいと思いますというところ、それはいわゆる環境に関わる部分でもあると思う。そういった意味で先駆的などころがあるかと思う。あと屋上緑化とかそういった一般的な事例はあると思うが、それをどう組み合わせしていくのかというところ。開発が非常に今後もあるというお話、状況にあるということは、いろいろな計画で把握はさせていただいている。その開発の中に、容積をアップしたいのであればプラスアルファの、さらにアルファの緑化をしてくださいとか、そういうような取組もあろうかと思う。</p> <p>ただ、そういったまちづくりの中でのハードだけではなくて、最近だとソフトの取組を推進することによって都市計画制度の地区の中で緩和をするというやり方も出てきているので、地域の中でエリアマネジメントを取り組んでいき、エリアマネジメントの方々が緑の管理とか、エネルギーの管理とかそういったところをしっかりとやっていくということであれば、建物側に対して、容積をプラスアルファをするというところはやっているところもあるので、そういったものをうまく港区でも適用できないか、さらにプラスアルファでいい制度にできないかというような提案をしたいなと思う。</p>
E 委員	<p>2点あるが、1点目が様式9の中で、30年後の港区の将来イメージをイラスト等を用いて具体的に伝えていくということで、区民の皆さんにとって分かりやすいと思うので、そういったことは重要だと思うが、今回業務の中で、例えばアンケートの内容とかヒアリングだとか、そういったことをやるに当たって、いろいろなアイデアを引き出していくような、そんなやり方というのは何か考えられるものがあるか。</p>
B 事業者	<p>他市の事例、多摩地域で大変申し訳ないが、例えば先ほどの先生へのアンケートであるが、それを少し生徒にもやっていただくような、例えば様式を作っておいて、港区の各学校の中で、それぞれ六本木であり赤坂であり新橋であり、それぞれ地域が違うので、そこをどんなまちにしたいかとか、そういう何か選択肢ではなくて、自由記入みたいな形で少し書いてもらって、それを集約し、エッセンスを拾い上げてそれを積み重ねることで、ビジョンというものの言葉の節々にこう言葉を入れるというような考え方はあるかなと思っている。</p>
E 委員	<p>もう1点だけ、話が戻ってしまうが、組織体制について、様式6の総括責任者以外の6名というのは、比重的には、例えばどなたが中心的な役割を果たしていくのか、そういったところというのは何か割合とかはあったりするものなのか。</p>
B 事業者	<p>総括責任者である私の方はどちらかというとな業務全体を統括するというところで、スケジュール管理がちゃんとできているのかとか、言われた内容がちゃんと反映できているのかとか、そういうチェックを主にやっていきたいと思っている。ただ、この環境基本計画の中身の方向性とか、具体的な資料の内容等々の監修とか企画をするのが、主任技術者になる。その指示のもと、下の4名がそれぞれの担当分野で動くというような体制を考えている。なので、例えばこちらでの打合せ等については、私と主任技術者と、あとその分野を担当した者ということで、3番目に書いてある者が来る場合</p>

	<p>もあるし、隣の者が来る場合もあるが、それぞれの担当分野の中で対応させていただくというように考えている。</p>
A委員	<p>ちょっと一般論で申し訳ないが、例えば我々の方で相談があれば、いつでもということは無理だろうが、こんな課題があるとか、総括責任者に相談すれば、大体受けていただいて、後で解決策を提示していただいとということでしょうか。</p>
B事業者	<p>そこは私か主任技術者のどちらかで受けさせていただきたいと思っている。</p>
A委員	<p>いつでも連絡がとれるような状態ということでしょうか。</p>
B事業者	<p>いつでもと言われると、というところはあるが、いつでも連絡をしていただければと思う。多分業務の御縁があったときには、私はちょっと出ることも多いので、携帯電話にお声かけてくださいという話をいつもさせていただいているので、すぐに折り返しをすとかというのはできるかなと思う。私では全て回答できないこともあったりするんで、そこは主任技術者とやりとりしながらと思っている。</p>
事務局	<p>それでは審査はこれで終了とさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【B事業者退室】</p> <p style="text-align: center;">(B事業者採点)</p> <p style="text-align: center;">(集計 (各委員は休憩))</p>
A委員	<p>集計結果について、事務局より報告をお願いしたい。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">(事務局が、資料4の説明)</p>
A委員	<p>それでは、各委員から採点結果について講評をお願いしたい。</p>
C委員	<p>A事業者の印象は、プレゼンの中身は一次審査の提案の内容、印象とほぼ変わらずである。業務体制については信頼できるなと思ったが、提案の中身の具体性だとか、自社ならでは、会社ならではの主張という点で物足りなく感じている。私は回収率の向上であるとか港区ならではの視点、この辺りの質疑をさせていただいたが、それ以外の委員からの質問に対する回答もちょっと具体性に欠けて、しどろもどろな感じもして、納得性のある回答は得られなかったかなと思った。</p> <p>また、提案もちょっと根拠に欠ける、思い付きとまでは言わないが、そういった印象も感じられたのと、あとパートナーシップの強化と言っているが既存の枠組みにとどまっっていて、広がりという面では感じられなかったんで、全体的に世論を動かすとか政策の旗を立てるとかそういった熱意が感じられなかったのは残念に思った。</p> <p>B事業者については、プレゼンテーションは一次提案の企画内容を非常に分かりやすく丁寧に説明をしてくれて好感の持てる内容だったと思う。</p>

B 委員	<p>また、収集データに基づく計画改定の視点の整理というのは非常に重要なアプローチだと思って、A社の逆算方式と比べて非常に安心感を与えてくれた。一方スケジュール感はちょっとざっくりというところは相変わらずだったが、ただ進行管理であったり進捗管理については自信を持っているなど感じた。</p> <p>様々な質疑に関しても非常に理路整然と自信を持って回答されていたので、素晴らしい事業者ではないかなという印象を持った。</p> <p>A事業者については、業務体制について評価させていただいた。特に専任性ということで、他の業務を持たないように努める、あるいはそうするという話だったので、そこは高く評価していいのかなと思った。</p> <p>あとはプレゼンのための補足の資料がないというのがいかなものかなと最初から思っていたところで、説明についても新たな提案の補足とかというのがないし、プレゼンとしては一般的なレベルにとどまってしまったかなということが少し残念だなと思う。</p> <p>業務への意欲というのは非常に強いものではないというふうに感じてしまったが、誠実性は感じられるところで、総合的に評価すると、普通かなと感じた。</p> <p>一方でB事業者については、やはりサポート体制、業務体制について、かなり多くの業務を抱えているというところが、自信を持って答えてはいるが、担保が取れるかというところとあやしいところが匂った、ということである。</p> <p>企画提案とかそういったところはより具体的なものも感じられたし、少し高く評価できるのかなということである。プレゼン慣れしているというのもあるし、内容もしっかりと捉えて、業務を安心して任せられるのかなということも感じたので、任せていいのかなと感じたところである。</p>
D 委員	<p>A事業者はサポート体制とか取組意欲というものは感じられたが、ただやはり具体的な質問すると、なかなか答えられないし、事例と言って少し捻って質問すると、ちょっと答えが全然返ってこなかった。プレゼンもやはり、もう全然A事業者とB事業者で差があったかなというふうに思っている。</p> <p>逆にB事業者の方はちょっと実施体制、業務体制が不安である。総括責任者が常にいればすごい業者だなと思うが、ちょっと少し体制を、いろんなセクションをやっているのをそこをうまくやっていただくしかないかなと思っているが、企画提案の実現性とか具体性とかはきちんと答えていたし、いろんな事例は知っているようであった。説明の分かりやすさというのはすごく良かったと感じている。なので、トータルでB事業者の方を上げたいというふうに思っている。</p>
E 委員	<p>A事業者は主任担当者の方がきちんと説明していただいたということはあるが、一方で資料とかは作ってこなかったということで、逆にB事業者はプレゼン慣れもしているのでパワーポイントとかでしっかり作ってきていたが、主任技術者の方が来ないというのは、軽く見られている感じも受けたが、そこは一長一短なのかなと思う。</p> <p>A事業者については、提案内容から新たに魅力を感じるようなところがあまりなかったかなと思う。視点はいいが具体的なところの期待というところは、ちょっと感じられなかった。</p> <p>逆にB事業者については、もともと環境基本計画は中二階的存在というような言い方</p>

A委員	<p>もされていたが、意識調査とかインターネットの活用とかそういったところの分析能力というか、分析とかもしっかりやっていただけるのかなという、そういったところは期待ができるということで、B事業者の点数を高くしている。</p> <p>まずA事業者の方とはとにかく、一次の資料も同じだが、よく読むと内容はいいが、やはり作り方が分かりにくいし、人に分からせようとして作っていない。こういうことというのは一事が万事で、多分本番でも同じようなことやるのではないかなと思う。人に分からせようという思いが全く伝わってこない。</p> <p>プレゼンも同じで、プラスの資料もなく、分からせようという気持ちがあまり伝わってこない。</p> <p>B事業者は、とにかく分からせよう分からせよう、はっきりさせようと、そういう意欲だけは伝わってくる。資料も作ってきて、実際手間がかかっているわけなので、こういうことにちゃんと手間をかけているというところはあるかなと思った。仕事でも多分同じようにやってくれるのかもしれないが、ただ、今日は本当に人数が少ない。人数というのでも意欲を表すと思う。そういう意味でちょっとがっかりはした。多分それだけ忙しいのだろうが、だから危ないことは危ないが、ただ、総括責任者も全部関わると言っているので、全てはできないかもしれないが、それは担保をとった。具体的でやはり説得力も十分感じられた。</p>
A委員	<p>今の講評でご意見はよろしいか。</p>
各委員	<p>はい。</p>
A委員	<p>それでは事業候補者はB事業者ということで決定する。</p>
	<p>2 その他</p>
事務局	<p>(事務局が、今後のスケジュール等について説明)</p>
A委員	<p>以上をもって選考委員会を閉会する。</p> <p>【決定事項】 B事業者を事業候補者として決定する。</p>